



看護はひとつの芸術である。

フローレンス・ナイチンゲール

看護はひとつの芸術である。そしてそれを芸術であらしめるには、画家や彫刻家の仕事と同じように、他を顧みない専心ときびしい準備が必要である。命ある身体、すなわち神の魂の宿り給う宮を扱うのに比べれば、生命のない画布や冷たい大理石を扱うことが何であろうか。看護は最上級の芸術のひとつである。最上級の芸術のなかでも、最も優れた芸術であるとさえ私は言明してきた。最も幸福な人々、自分の職業を最も愛する人々、自分の人生に最も感謝の念を抱いている人々、それは私の考えでは病人の看護に携わっている人々である。